

青木陵子 Ryoko Aoki

1973 兵庫県生まれ

現在京都府在住

1999 京都市立芸術大学大学院 ビジュアルデザイン科修了

主な個展

2024 「境界線のはなし」 Take Ninagawa、東京

2020 「変化する自由分子の WORKSHOP」 (with 伊藤存)、ワタリウム美術館、東京

2018 「Ryoko Aoki and Zon Ito」 (with 伊藤存)、Yamamoto Keiko Rochaix、ロンドン
「三者面談で忘れてる NOTEBOOK」 Take Ninagawa、東京

2011 「みどり色のポケット」 Take Ninagawa、東京

2010 「ワイルドフラワーのたね」 On Sundays、東京

2009 「Camp」 (with 伊藤存)、Konrad Fischer Gallery、デュッセルドルフ
「オブジェクト・リーディング」 フォイル・ギャラリー、東京

2007 「Under the Secret」 兎玉画廊、大阪
「Ripples」 Nicole Klagsbrun、ニューヨーク

2005 「Super Flyer」 兎玉画廊、東京
「Hammer Projects: 青木陵子」 Hammer Museum、ロサンゼルス

2004 「Sliding Circle」 Marc Foxx Gallery、ロサンゼルス

2002 「Gluesights」 兎玉画廊、大阪
「クリテリウム 51 青木陵子」 水戸芸術館現代美術ギャラリー、水戸

主なグループ展

- 2025 第15回上海ビエンナーレ「花はミツバチを聞くのだろうか？」
「ずれた」 The Pawnbroker's Museum、日光市、栃木
「マタタビ」 jasmin 防空壕ギャラリー、京都
Curation ⇄ Fair「Pocket Full of Sparks: それは小さいのにとっても大きい」
(キュレーション: 兼平彦太郎)、kudan house、東京
- 2024 AWT Focus 2024「大地と風と火と: アジアから想像する未来」(キュレーション:
片岡真実) 大倉集古館、東京
神戸六甲ミーツ・アート 2024 beyond (with 伊藤存)

TAKE NINAGAWA

- 「an arena」 Barbati Gallery、ヴェネツィア
恵比寿映像祭 2024「月へ行く 30 の方法」(with 伊藤存)
- 2023 「Body, Love, Gender」(キュレーション：椿玲子) Gana Art Center、ソウル
AWT Focus 2023「平衡世界：日本のアート、戦後から今日まで」(キュレーション：保坂健二郎) 大倉集古館、東京
「15」 Take Ninagawa、東京
「ケアリング/マザーフード：「母」から「他者」のケアを考える現代美術」水戸芸術館現代美術ギャラリー
- 2022 「視覚トリップ展」ワタリウム美術館、東京
- 2021 「日常のあわい」(with 伊藤存)、金沢 21 世紀美術館
「South South 東京」 Take Ninagawa、東京
- 2020 「コレクション 1: 越境する線描」国立国際美術館、大阪
- 2019 Reborn-Art Festival 2019「いのちのてざわり」(with 伊藤存)、石巻、宮城
- 2018 「国立国際美術館コレクション：美術のみかた 自由自在」豊橋市美術館、愛知；福岡県立美術館
「現代アートの宝箱 OPAM 利岡コレクション」大分県立美術館
Public Art Research Center 8「Parc 8: 橋をかける」(with 伊藤存)、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)
「ヘレン・アット・ザ・マウンテン」てつおのガレージ、栃木
「181 枚の記憶 高松市美術館特別展の歩み」高松市美術館
「10th Anniversary」 Take Ninagawa、東京
- 2017 「In Focus: Contemporary Japan」ミネアポリス美術館、ミネソタ州、アメリカ
「Post-Formalist Painting」駒込倉庫、東京
「Reborn-Art Festival in Tokyo」(with 伊藤存)ワタリウム美術館、東京
Reborn-Art Festival 2017「人が生きる術」(with 伊藤存)、石巻、宮城
「コレクション 風景表現の現在」国立国際美術館、大阪
「椿会展 2017 初心」資生堂ギャラリー、東京
- 2016 「現代地方譚 4 アーティスト・イン・レジデンス須崎」すさきまちかどギャラリー/旧三浦邸、高知
「Location, Location, Location」Marc Foxx Gallery、ロサンゼルス
「トレッドソン・ヴィラ・マウンテン・スクール 2016」トレッドソン別邸、日光、栃木；statements、東京
「椿会展 2016 初心」資生堂ギャラリー、東京
「囚われ、脱獄、囚われ、脱獄」statements、東京
- 2015 「Two Sticks」ヴロツワフ建築博物館、ポーランド
「現代地方譚 3 アーティスト・イン・レジデンス須崎」すさきまちかどギャラリー/旧三浦邸、高知

TAKE NINAGAWA

- 「古今東西 100 人展：アイ・ラブ・アート 13 ワタリウム美術館コレクション」
ワタリウム美術館、東京
- 「高橋コレクション展 ミラー・ニューロン」東京オペラシティ アートギャラリー
- 「Wabi Sabi Shima: Of the Aesthetic of Perfection and Chaos in the Japanese Archipelago」Thalie Art Foundation、ブリュッセル
- 「椿会展 2015 初心」資生堂ギャラリー、東京
- 「トレッドソン別邸のため」トレッドソン別邸、栃木
- 「still moving」京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA
- 「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」
Champasari Art Gallery、マハーサーラカム大学、タラット、タイ；Koala space、
天津；53 美術館、広州；香港アート・センター；高雄市文化センター、中国；
マラヤ大学美術館、クアラルンプール；Muzium & Galeri Tuanku Fauziah、ペナン；
マレーシア科学大学、ペナン
- 2014 「拡張するファッション」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、香川；水戸芸術館現代
美術センター
- 「開館 20 周年記念 MOT コレクション特別企画：クロニクル 1995-」東京都現代
美術館
- 「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」
Omani Society Fine Arts、マスカット、オマーン；M16 Artspace、キャンベラ；
Gallery Central、パース、オーストラリア
- 「椿会展 2014 初心」資生堂ギャラリー、東京
- 2013 「5th Anniversary」Take Ninagawa、東京
- 「Now Japan: Exhibition with 37 Contemporary Japanese Artists」Kunsthal KAdE、
アムステルダム、オランダ
- 「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」
メトロポリタン美術館、マニラ；龍頭山美術展示館、釜山；安養ロッテ・ギャラ
リー、安養；済州道立美術館；在大韓民国日本国大使館広報文化院、ソウル；ホ
ーチミン市労働文化会館展示館；ベトナム国立美術博物館、ハノイ
- 「椿会展 2013 初心」資生堂ギャラリー、東京
- 「Re: Quest - 1970 年代以降の日本現代美術」ソウル大学校美術館
- 2012 5th International Biennial of Media Art 「Experimenta Speak to Me」メルボルン
- 「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」
シントラ現代美術館、ポルトガル；アリカンテ大学美術館、スペイン；
Theocharakis Foundation Museum、アテネ；マルミタロ、ヘルシンキ
- 2011 「世界制作の方法」国立国際美術館、大阪
- 「クロスカウンター・日英アーティスト共有展」Capsule、東京
- 「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」

TAKE NINAGAWA

- Gezira Art Center、カイロ；Tkachi、サンクトペテルブルク、ロシア；国立現代美術センター、モスクワ；エルンスト美術館、ブダペスト
- 「CAFE in Mito 2011- かかわりの色いろ」水戸芸術館現代美術ギャラリー
- 2010 「高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.01 もうひとつの・カーニバル」高松市美術館
- 「alive - birth of a tale」Gallery Factory、ソウル
- 「The More I Draw - Drawing as a Concept for the World」ジエゲン現代美術館、ドイツ
- 「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」メキシコ国自治大学付属チョポ美術館、メキシコシティ；トロント日本文化センター；日米文化会館ドイザキギャラリー、ロサンゼルス
- 「Hana 現実と虚構が溶け合った視覚の冒険」小山市立車屋美術館、栃木
- 「絵画の庭 - ゼロ年代日本の地平から」国立国際美術館、大阪
- 2009 「Twist and Shout: Contemporary Art from Japan」バンコク芸術文化センター
- 「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」Aberystwyth Arts Centre、アベリストウィス、イギリス；ローマ日本文化会館；ケルン日本文化会館、ドイツ
- 「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」原美術館、東京
- 2008 「Art on Paper」ノース・カロライナ大学グリーンズボロ校、ノース・カロライナ州、アメリカ
- 「MOT コレクション：サバイバル・アクション」東京都現代美術館
- 「ライフがフォームになるとき - 未来への対話 / ブラジル、日本」サンパウロ近代美術館
- 2007 ドクメンタ 12 「The Migration of Forms」カッセル
- 「夏への扉 - マイクロポップの時代」水戸芸術館現代美術ギャラリー
- 2006 「Psychic Scope」Space*C、ソウル
- 「Rapt! 20 contemporary artists from Japan」West Space、メルボルン
- 2005 「夏の蜃気楼 自然をうつしだす現代の作家たち」群馬県立館林美術館
- 「Paper」Nicole Klagsbrun、ニューヨーク
- 2004 「Past in Reverse: Contemporary Art of East Asia」サンディエゴ美術館、カリフォルニア州、アメリカ
- 「アートがあれば：Why Not Live For Art?」東京オペラシティ アートギャラリー
- 「on paper」Nicole Klagsbrun、ニューヨーク
- 2003 「Study」タカ・イシイギャラリー、東京
- 「Slow Painting」大和ラジエーターファクトリー・ビューイングルーム広島
- 「Dark Shadows」Marc Foxx Gallery、ロサンゼルス

TAKE NINAGAWA

- 「Girls Don' t Cry」 パルコミュージアム、東京
- 2002 「Art in Transit」 パレスサイドホテル、京都
「想画集」 ヴォイスギャラリー、京都
- 2001 横浜トリエンナーレ 2001「メガ・ウェイブ 新たな総合に向けて」(with 伊藤存)
「Kyoto x Amsterdam - New Directions」 京都芸術センター
- 2000 「The J-Way」 Lydmar Hotel、ストックホルム
- 1998 「どないやねん！現代日本の創造力」 パリ国立高等美術学校

レジデンシー

- 2025 トレッドソン・ヴィラ・レジデンシー (with 伊藤存)
- 2016 「現代地方譚 4 アーティスト・イン・レジデンス須崎」すさきまちかどギャラリー、高知
- 2015 「現代地方譚 3 アーティスト・イン・レジデンス須崎」すさきまちかどギャラリー、高知

主なコレクション

ハマー美術館、ロサンゼルス
大分県立美術館
国立国際美術館、大阪
資生堂
高松市美術館
東京都現代美術館
ニューヨーク近代美術館